

旭川龍谷高等学校 令和5年度 授業シラバス

| 教科名 | 科目名 | 単位数 | 学年 | 必/選 | コース/フィールド |
|-------|--|------|------------|-----|-----------|
| 公民 | 公共 | 2 | 1 | 必 | 特進コース |
| 科目の目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画にもとづき、学習項目の整理と理解を深める。 ・現代社会の諸課題を考察しながら、適切な情報を用いて理解を深める。 ・現代社会の動向を公共的な空間における基本 T 系原理を活用しながら、多面的・多角的に考察し判断し、表現する力を養う。 | | | | |
| 教科書 | 『公共 PUBLIC』 (数研出版) | 副教材等 | 必要に応じて用意する | | |

1. 学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり 解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的 に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能 力を次のとおり育成することを目指す。

2. 学習計画及び評価の観点

※評価の観点：X(知識・技能)，Y(思考・判断・表現)，Z(主体的に学習に取り組む態度)

| 学習内容 | 時数 | 月 | 学習のねらい | 評価の観点 | | |
|---|----|---|--|-------|---|---|
| | | | | X | Y | Z |
| 第1章 公共的な空間をつくる私たち 1 青年期と自己形成 2 人間としての自覚 3 日本としての自覚 | 6 | 4 | 社会の位置としての自覚を深め自分の生き方を選択し、自己実現が目指している。 | ○ | ○ | ○ |
| 第2章 公共的な空間における人間としてのありかた 1 西洋近現代思想 2 現代の諸課題と倫理 | 8 | 5 | 先人の生き方を通して、自ら成長させる人間としての在り方・生き方が考察できている。 | ○ | ○ | ○ |
| 第3章 公共的な空間における基本原理 1 民主社会の基本原理 2 日本社会の基本原理 | 10 | 6 | 民主政治における国家と個人の在り方が考察できている。 | ○ | ○ | ○ |

| 学習内容 | 時数 | 月 | 学習のねらい | 評価の観点 | | |
|---|----|-------------|--|-------|---|---|
| | | | | X | Y | Z |
| 第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 1 日本の政治機構 2 政治参加と民主政治の課題 | 9 | 7 8 | 日本の政治についての課題を発見し、解決する見通しを考察できている。 | ○ | ○ | ○ |
| 第5章 現代の経済社会と経済活動の在り方 1 政治のしくみと市場機構 2 財政と金融 3 日本経済の発展と変化 4 豊かな生活と福祉の実現 | 10 | 9 10 | 市場機構だけでは解決できない経済停課題を考察させたり、企業倫理についても考察できている。 | ○ | ○ | ○ |
| 第6章 国際社会の動向と日本の役割 1 国際政治の動向 2 国際政治の課題と日本の役割 3 国際経済の動向と国際協力 | 12 | 11 12 | 国債社会で平和と安全を維持するために何が有効なのか、自らの意見が持て、他者と意見の交流ができている。 | ○ | ○ | ○ |
| 持続可能な社会づくりの主体となる私たち ・課題探求の観点 ・課題探求の手引き | 10 | 1 2 3 | 現代社会の諸課題の解決のために、事実を基に協働して多角的、多面的に考察し、表現できている。 | ○ | ○ | ○ |